

質 疑 回 答 書

令和6年1月17日

吹田市水道部

工事名又は業務名 泉配水幹線布設工事

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答 事 項
1	設計書	本工事の単価適用年月日をお教え下さい。	単価は、設計積算時直近年版(令和5年3月単価世代)の当部共通代価を使用しています。当該共通代価以外の単価についても、令和5年10月の単価を使用しています。
2	設計書	歩掛・経費年度は「令和4年度」、歩掛・経費区分は「上水道」、損料年度は「令和4年度」と理解してよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
3	設計書	本工事の「交通誘導警備員」は、全て交替要員無しと考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
4	設計書	施工地域・工事場所による補正は、「一般交通影響有り(2)」と考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
5	設計書	週休2日補正の有無をお教え下さい。もし補正があるようでしたら、その種別もお教え下さい。	週休2日工事に要する経費補正は行っておりません。
6	設計書	現場環境改善費の計上の有無をお教え下さい。	現場環境改善費の計上は行っておりません。
7	設計書 238頁	第161号表の「組立マンホール設置工 0号人孔 内径750mm 2m以下」に施工規模補正は計上してありますか。ご教示ください。	計上しております。
8	設計書 13頁	第2号明細表の2にて、「アルミ矢板建抜工(機械施工) 掘削深2.0m以下 たて込み+引抜き 設置BH0.28m3、撤去トラッククレーン」408.7mに対して「支保工(軽量金属製) 深さ2.0m以下(1段)設置+撤去 水圧式」408.7mであり、「アルミ矢板建抜工(機械施工) 掘削深2.5m以下 たて込み+引抜き 設置BH0.28m3、撤去トラッククレーン」118.3mに対して「支保工(軽量金属製) 深さ3.5m以下(2段)設置+撤去 水圧式」59.1mとなっています。数量を誤謬されていませんか。されている場合、今回はどのように考え、どのように見積ればよいでしょうか。ご教示ください。	設計図書に誤謬または脱漏があった場合は設計変更の対象となります。積算については、設計書の数量のとおりで積算してください。
9	設計書 13頁	第2号明細表の2にて、「アルミ矢板建抜工(機械施工) 掘削深2.5m以下 たて込み+引抜き 設置BH0.28m3、撤去トラッククレーン」118.3mで、「支保工(軽量金属製) 深さ3.5m以下(2段)設置+撤去 水圧式」59.1mとなっています。「軽量金属製支保材質料(両側)2段水圧式」の数量欄を伏せておられますが、この数量は「アルミ矢板建抜工(機械施工) 掘削深2.5m以下 たて込み+引抜き 設置BH0.28m3、撤去トラッククレーン」118.3mか、「支保工(軽量金属製) 深さ3.5m以下(2段)設置+撤去 水圧式」59.1mのどちらを元に算出されていますか。ご教示ください。	日進量をもとに算出しております。
10	設計書 293頁	第214号表「基礎砕石 17.5cmを超え20.0cm以下 再生クラッシュラン 40～0」の中の「バックホウ賃料 排出ガス対策型(2011年規制)/クローラ型 山積 0.8m3」は長期割引あり、長期割引なしのどちらで計上されていますか。ご教示ください。	長期割引ありで計上しております。
11	設計書 83頁、 240頁	第6号表と第162号表は同じ表でよいと思うのですが、番号を異にされていますが、何か事由があるのでしょうか。処分地でも違うのでしょうか。ご教示ください。	設計図書に誤謬または脱漏があった場合は設計変更の対象となります。積算については、設計書の数量のとおりで積算してください。
12	設計書 185頁、 252頁	第108号表と第174号表は同じ表でよいと思うのですが、番号を異にされていますが、何か事由があるのでしょうか。処分地でも違うのでしょうか。ご教示ください。	設計図書に誤謬または脱漏があった場合は設計変更の対象となります。積算については、設計書の数量のとおりで積算してください。